

平成22年度きょうと農商工連携応援ファンド支援事業 採択一覧

No	地域	申請内容	申請者名（カッコ内は代表者）
1	丹後	農事組合法人が、パーベキューガーデン、貸ロッジなどを経営するペンションと連携、京野菜の収穫体験、布袋（ほてい）さんの米の販売、干し大根、黒豆煮等の新商品開発を展開し、体験・物販・商品化の農村プロデュース事業を推進する。	たごさく 農事組合法人 田吉作（瀬尾さよ） ペンション無人島（平井延雄）
2	丹後 中丹	地元の海藻採取グループが中間加工業者及び加工販売業者と連携、未利用資源であった海藻アカモクを加工して新商品（アカモク玄米等）を製造・販売、アカモク利用の促進を図るためにPRや研究を行う。	養老水視組合（橋本忠） （株）加悦ファーマーズライス（西原重一） かねと食品（嶋田善文）
3	丹後 京都	酪農体験農場がハチミツ業者と連携、健康志向の高付加価値商品「はちみつアイス」などを開発し、新たなマーケットに売り込むことにより、丹後地域の新たなブランド製品とするとともに丹後へ観光客を呼び込む。	（有）丹後ジャージー牧場（平林衛） （株）金市商店（市川長三郎）
4	京都 丹後	組合が米販売業者と連携、丹後コシヒカリなどの丹後地域の優れた農産物について祇園から情報を発信、「食味実感型」のアンテナショップを通じてブランド化の推進や販路開拓を図る。	丹後広域営農センター（J A 京都 竹内敏三） ぎへい （株）八代目儀兵衛（橋本隆志）
5	京都 丹後	丹後地域の過疎集落（農協）がつけもの製造販売業者と連携、丹後に自生する花わさび、こごみ、山蔞、蔞の臺、山の芋等これまで漬物として利用されていない原材料を漬物として加工、農業者の収入拡大と過疎地域の活性化を図る。	丹後広域営農センター（J A 京都 竹内敏三） （株）西利（平井達雄）
6	京都 丹後	漁協が京都の老舗水産物加工業者と連携、丹後で水揚げされる漁獲量日本一の鯖・サゴシを京都の西京味噌漬け専門店が加工、販売を行い、京丹後産鯖・サゴシの西京漬としてブランド化を図る。	湊漁協協同組合（和田市郎） かめや （有）亀弥（山代光史）
7	中丹	地域農家の7割が参加し、減農薬・有機栽培を行っている農業生産法人と油揚げや和総菜の製造を行っている中小企業者との連携、三和町地域の農産物だけで作ったこだわりのいなり寿司の開発・生産・販売とブランド化により地域を活性化する。	農事組合法人 かわい（小原一奏） （株）京都庵（松田清克）
8	南丹	地元酒造業者が農家と連携、酒の製造過程で出る米粉と他の地域農産物の消費拡大が図れるよう牛乳や卵など南丹地域にこだわった材料を使用、京風にアレンジしたフランス焼き菓子マカロン（卵白とグラニュー糖で作る菓子）を開発製造、女性社氏のセンスを活かして女性をターゲットに日本酒とセットで販売する。	河原林酒米生産グループ（桂孝男） 丹山酒造（有）（長谷川敏郎）
9	南丹	ゆず生産農家が農産加工を得意とする組合と連携して鳥獣害が少ない「ゆず」を原料としたスイーツなど新たな商品を開発し地域の特産品にする。	畑郷ゆず栽培組合（横田恭治） 農事組合法人グリーン日吉（田中保雄）
10	南丹	農業者グループ、地域法人、障害者施設が連携、規格外野菜を利用して餡やジャムを生産、障害者施設が米粉パンの具材として利用、地域法人が開発するスイーツと併せて直売所で販売する。	ふらっと美山生産者の会（菅井正巳） （株）ネットワーク平屋（加地唯男）
11	京都	フードコーディネーターや栄養士の協力により、高齢者や中高生をターゲットにした規格外農産物（京野菜）を活用した牛乳スープやリゾット、お粥など栄養価の高い手軽なレトルト食品を開発・販売する。	畜産酪農課（全農京都 細見泰敏） 京都府牛乳商業組合（谷尻順一）
12	京都	協同組合がインテリアや調理用具の製造・卸を行っている中小企業者と連携、北山杉を使用した京箸等のブランド化を一層進めていくために、見本市などを通じてバイヤーにアピールし販路拡大を図る。	京北銘木生産協同組合（辻実智之） けんじん （株）結人（佐藤晴信）
13	山城	荒茶生産農家と加工販売業者の組合が連携し、「玉露」「かぶせ茶」「煎茶」「抹茶」「ほうじ茶」など色々なお茶に対する嗜好調査を行い、ブランド技術を磨き海外の嗜好にあった新商品を開発し、販売拡大を図る。	UJICHA to the world（松井徳之） 京都やましろ農協（天津泰治）